

# 第39回 JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会水球競技 諸注意

## <競技方法>

1. 試合形式は下記のとおりとする。
  - ①A、C区分 …予選リーグ（4ブロック）を行い、勝ち点制とし、勝ち3点、負け0点、引き分け1点とし、勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が同点の場合は、当該チーム同士の①勝ち点②得失点差③総得点、次に対象チーム以外の最高順位チームとの④得失点差⑤総得点、それでも順位が決しない場合は次順位のチームに対する⑥得失点差⑦総得点、それでも順位が決しない場合は予選リーグ全体の成績における⑧得失点差⑨総得点⑩PS戦で順位を決定する。ただし、3チーム以上が同勝ち点になった場合で対象チームが2チームに減った時点で①に戻り順位を決定する。棄権は0-20で敗戦とする。予選ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
  - ②B、E区分…全試合トーナメント戦。  
**※A・C区分の予選リーグは6点差がついた時点でランニングタイムを止めずに競技を行う。点差が縮まっても時計は止めない。（残り30秒は止める。6点差がついた時点からタイムアウトは取得できない）（B・E区分は適用しない。）**
2. 競技時間は下記のとおりとする。
  - ①A区分 …4分2ピリオド行う。決勝トーナメントは4分4ピリオドで行う。
  - ②C区分 …4分2ピリオド行う。決勝トーナメントは4分4ピリオドで行う。
  - ③B、E区分…B区分1・2回戦、E区分1回戦は7分2ピリオド、以降の試合は5分4ピリオド行う。準決勝以上の試合については6分4ピリオドで行う。
3. 全区分、2回のタイムアウトを認める。
4. No13の選手は従来のルール通り、フィールドと兼務することを認める。
5. 上記の他は、（公財）日本水泳連盟水球競技規則及び一般規則により行う。

## ※A区分、C区分は22日から試合を行います。

## <グラウンドルール>

1. 帽子はそれぞれのチームで準備すること。原則として、組合せ表の左側のチームが白、右側が青の帽子をかぶるものとする。スタートサイドは白チームが本部席から見て左側とする。ただしルールに添って、チームカラーなどの帽子を着用する場合は、試合開始の30分前までに、対戦するチームが白の帽子を着用することの了承を得た上、本部席に届け出るものとし、さらに帽子と同色のセクレタリー用の旗を用意すること。
2. 招集は、各日第1試合は競技開始10分前、それ以降は前の試合最終ピリオド開始時に行う。ただし、フィールド交換後の試合は前の試合終了後、招集を行う。エントリー表通りの番号の帽子を着用の上、指定された場所へ集合すること。
3. ジュニアの大会であることを考慮し、不行跡、ブリタリティー等で永久退水になった場合は、帽子を取り、ベンチに待機させるものとする。

## <注意事項及び連絡事項>

1. 試合開始時刻（招集時刻）に遅れないようにしてください。
2. プールサイド及び更衣室フロアは土足禁止ですので厳守願います。プールサイドは監督、コーチのみ室内履き（裏が白のみ）を認めます。選手は裸足とします。
3. 更衣室は使用できますが、ロッカーは使用できません。荷物を更衣室内に置かないでください。
4. ゴミは持ち帰ってください。ご協力お願いいたします。
5. プールサイドへの飲食物の持ち込みは禁止です。ただし試合中のインターバル時に水分を補給する場合のみ例外としますが、商標などの広告媒体となるラベルは取り除いて下さい。プールの中に飲料が入らないようにしてください。その他の飲食はスタンド後方のスペースで行ってください。
6. 写真やVTRの撮影には許可が必要です。身分証などを提示していただき確認の上許可証を発行いたしますので、常時携帯の上撮影行為をおこなってください。なお、本来の目的と違う形での映像使用は処罰の対象となります。この趣旨をご理解いただき、不審な撮影者等を発見した場合は大会運営側に通報していただけますようご協力お願い致します。また、一般のかたの場内の電源コンセント使用はできません。チーム使用のVTRバッテリーの充電などは出来ませんのでご注意ください。  
**※チームスタッフ、選手などADカードをお持ちの方は撮影許可証不要です。**
7. ケガ・病気等の場合、会場内の救護室で応急の処置は致しますが、最終的な診断はできかねますので、救急車の要請ということになります。事後の措置については当該チームで対処して下さい。
8. 駐車場の収容台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。なお、周辺路上は駐車禁止です。絶対に路上駐車をしないでください。バスについて、バスの停車できる駐車場はございません（昨年度とは異なり、待機する場所も作れません）。必ず回送をお願いいたします。なお、周辺の路上で乗降、バスの待機は近隣住民の方のご迷惑となるためご遠慮ください。
9. 競技エリア以外は立入禁止です。場内の案内にしたがってください。アリーナ内は必ずADカードを身につけてください。**※サブプールの一般エリアは立入禁止です。**
10. ベンチに入る監督、コーチは水球競技一般規則に則り、襟付きのシャツ、長ズボンまたはチームユニホームを着用してください。Tシャツ、ハーフパンツでのベンチ入りは認められません。
11. 1階出入り口は、役員並びにサブプールを利用する一般の方専用です。選手・監督・観客などの大会関係者は2階入り口を使用してください。1階ロビーも立入禁止です。

<監督者会議>

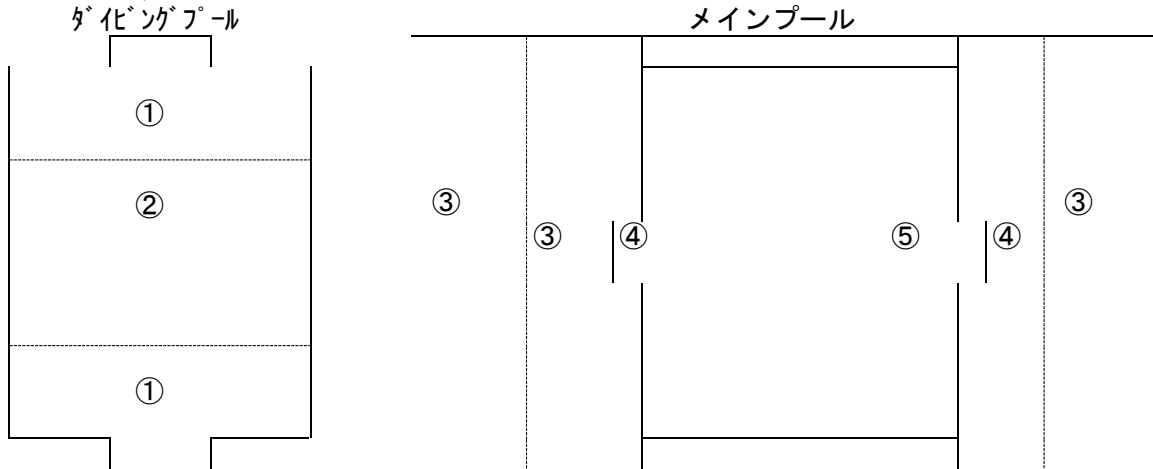
- ・日時 8月22日 12:00~
- ・場所 門真スポーツセンタープール1F 会議室 (大会役員入口より入室して下さい)  
※必ずチームを代表する方が出席してください。欠席の場合は委任されたものとします。

<22日のアップについて>

- ・時間 11:00~14:00
  - ・入場方法 2階入り口より入場し、正面右手階段 (これ以降土足厳禁) を通りプールへ入場してください。
- ※A区分はダイビングプールにて、C区分はメインプールにて14:00からゲームを行います。このあとはアップは下記に従ってください。

<ウォーミングアップについて>

[22日~25日]



オフィシャルボックス

- ①: ダイビングプールの次の試合のチーム (インターバル中のみ)
- ②: ダイビングプールの2試合後のチーム (インターバル中のみ)
- ③: B、E区分の次の試合、2試合後のチーム ※スイムのみ、次の試合のチーム優先。
- ④: A、C区分の次の試合のチーム ※スイムのみ、空いている場合はB、E区分も可。
- ⑤: B、E区分の次の試合のチーム

[26日]

- ・メインプールはアップ禁止。アップは全てダイビングプールで行ってください。使用方法は22日から25日までの方法に準じます。
- ・ゴール前は次の試合のチーム、それ以外のスペースで2試合後のチームがスイムを行ってください。

<帯同審判について>

1. 帯同審判員の方は審判のできる服装をご準備ください。
2. 8月22日の監督者会議の際に帯同審判の確認を行います。ご出席ください。出席できない場合は下記連絡先までご連絡ください。
3. 帯同審判員を出せない場合は競技運営費2万円を申し受けます。事前に帯同審判員を登録されていても、当日ご参加いただけない場合は競技運営費を申し受けます。
4. 帯同審判員を登録されていないチームで、まだ競技運営費を支払っていないチームは、大会当日お支払いをお願いします。

<メンバーの変更について>

- ・申込の登録選手が、病気やケガ等で参加できない場合は下記の手続きにて届け出てください。
  - ①「メンバー変更届出用紙」に必要事項を記載し、加盟団体の証明を受ける。(加盟団体長印を押印のこと)
  - ②登録団体 (参加クラブ・学校) は監督者会議1時間前までに大会本部または総務へ提出する。
- ※口頭申告では認められませんのでご注意ください。

<マイクロバス等の駐車について>

- ・本年度より、原則として回送していただきます。一時的な駐車ができませんのでよろしくお願いいたします。

<ドーピング同意書について>

- ・日水連ホームページよりドーピングについての同意書をダウンロードいただき、チームでまとめて監督者会議までにご提出ください。なお、日本水泳連盟への提出は、夏のジュニアオリンピックで行っていただき、その後の提出は必要ありません。なお、国体では日本体育協会への提出となるため、別途様式での提出が必要となります。

\*\*\*\*\*  
 \* 問い合わせ (チーム代表、チーム監督・コーチのみ。一般の方の問い合わせは所属チームを通してお願いいたします。)  
 競技運営担当者: 早川 千春 携帯電話 090-8649-0636  
 E-mail: water.polo.jo@gmail.com (半角英数)  
 \*\*\*\*\*